

- Topics…第一外科(乳腺外科) 包括的な乳腺専門医療を目指して
- 取組案内1…**第一内科** ● 取組案内2…**地域医療連携センター**

附属病院の最新の医療を紹介する広報誌VOL.24が出来上がりました。これを機会に当院の医療を知っていただき、地域のリソースとして有効に活用していただければと思います。

Topics

包括的な乳腺専門医療を目指して

山形大学第一外科は東北大学外科学第一講座より元井冬彦先生が教授として御着任された以降、肝胆膵・上部・下部消化管・乳腺と4つのグループに分かれて専門診療を開始しております。2021年2月より東北大学外科学第二講座より赴任いたしました河合賢朗と申します。この場をお借りして皆様にご挨拶申し上げます。

現在乳腺グループは2人の乳腺専門医(1人は臨床遺伝専門医)、1人の専攻医で診療を行っております。原発乳癌手術の年間症例数は2021年89例、2022年102例と増加しております。診療の大きな柱は下記5つになります。

1. 診断

検診マンモグラフィ読影・超音波読影の講師経験者が病理組織学的診断を基本にCT、MRI、PETCT等を用いて正確な診断を提供いたします。臨床遺伝専門医が遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)や生殖細胞系列パネル検査にも対応いたします。

2. 治療

手術、再建術、薬物療法、放射線療法等の治療が一段落した後を見据えて、一人一人の患者さんにあった治療を組

み立てていきます。HBOCに対するリスク低減手術(乳房、卵巣卵管)も可能です。

3. 研究

国内外の薬物療法を中心とした臨床試験に参加するとともに、早期乳癌に対する非切除治療(ラジオ波焼灼療法、重粒子線治療)や、ロボット手術に取り組んでいきます。

4. 支援

患者さんが安心して治療を受けられるための就労支援、遺伝カウンセリング、妊孕性温存、アピアランスケア、心のケアに取り組めます。

5. 連携

ご紹介頂いた医療施設や開業医様と連携しながら、「患者さんが快適に安心して生活していける環境」を一緒に整えていきたいと考えております。

外来は大変混みあっており、時間に余裕をもって御来院頂けるよう受診者様へのご説明をお願い致します。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



第一外科医局集合写真



遺伝カウンセリングカンファレンス



急性期診療はもちろん、その手前でもご相談ください

最近、心原性ショックの患者に対して、ECMOやインペラ補助循環用ポンプカテーテルを用いて、救命できることが増えました。救急診療は当科の大きな役目ですが、イベントを起こす手前の診療にも注力しています。第一内科の救急以外の取り組みを中心にをご紹介します。

【循環器】

虚血性心疾患にPCIなどの血行再建の適応を決める時、従来のシンチ検査、冠動脈CTなどに加え、FFR-CT検査、アンモニアシチ検査で機能的評価が可能です。慢性の心房細動や、頻回の心室性期外収縮や心室頻拍などの複雑な不整脈に、心外膜アプローチやデバイスなども用い、積極的に治療します。経皮的左心耳閉鎖術(WATCHMAN)、経静脈電極拔去術、卵円孔開存へのデバイス治療も提供します。弁膜症は、Heart Teamカンファで適応を定め、外科治療、TAVIや経皮的僧帽弁クリップ術を施行します。無症状を含めて心臓の異常に対して、原因究明しながら、薬物・デバイス治療、心臓リハビリを含めた最適な治療を行います。末梢動脈疾患、肺高血圧症も得意分野であり、成人先天性心疾患対応も行っています。

【呼吸器】

肺がんの集学的治療、重粒子線治療、外来化学療法、吸入治療の指導体制などが得意分野です。COPDや喘息においては、地域の医療機関や薬局と連携し、吸入薬の使用方法を指導する体制を整えています。最近、従来の経気管支肺生検よりも大

きな検体を採取できるクライオ生検を導入し、びまん性肺疾患などの診断と治療に役立っています。

【腎臓・膠原病】

腎疾患は、軽微な尿異常から末期腎不全の腎移植・透析まで対応します。CKD診療ガイドラインの紹介基準を満たした場合や、経過が気になる患者さんについては、積極的にご紹介ください。膠原病は、最新のエビデンスに基づき、ステロイド、免疫抑制剤や生物学的製剤を用いて、生命予後改善、QOL維持を目指した診療を行います。不明熱・不明炎症の診断も、可能な限り正確な診断を行います。

急性期だけでなく、その手前の病態でも患者さんをご紹介ください。原因を検討し、予後を改善し、イベントを予防したいと思います。先生方との併診にも心がけます。

ご依頼：大動脈弁狭窄症患者さんをご紹介ください

東北地方で **山形県だけ**、透析患者さんの大動脈弁狭窄症に対する経皮的動脈弁置換術(TAVI)治療を認可された施設が県内になく、患者さんにたいへんご迷惑をおかけしています。この事態を解消するには、3年間で、150症例のTAVIの治療実績が必要です。是非、当院に大動脈弁狭窄症の患者さんをご紹介ください。中等症でも当科へご紹介いただければ、併診をして、適切な治療時期、治療方法をご提案します。





取組案内 2 地域医療連携センター

地域の医療機関や施設をつなぐ橋渡し

地域医療連携センターでは、院外からの患者紹介の調整を行う前方連携業務、外来や入院患者を担当とする後方連携業務を行っています。丁寧かつスムーズな患者の受け入れや対応を心がけ、地域の医療機関、医師やコメディカルと連携が取れるよう課題を把握し取り組んでいます。今年度は、患者紹介におけるわかりやすさに視点を置き、ホームページでの患者紹介へのアクセス改善、紹介申し込み用紙の簡便化、診療科別の対応を見直し、速やかに急患を受け入れられる体制を再構築しました。また、予約時にかかる時間短縮のため、前方連携業務スタッフを増員し、15分以内の予約返信が可能となりました。紹介元の先生方の業務負担の改善に繋がっていくことを期待しています。それに伴い、令和5年度版『診療科別担当医師や受診日の一覧表』を作成し、8月に発送させて頂きました。患者様の紹介等につきましてご参照いただければと思います。

当院の入院患者は合併症を多くもった高齢者が増えています。自宅退院までにリハビリを要する患者も多く、転院が必要となる場合もあります。大学病院としての機能を発揮するために、今後も地域医療との連携を強化し、患者さんが早期に住み慣れた地域へと戻り、地域全体の医療・介護・福祉資源を活用しながら、安心してその人らしい療養生活を継続できるよう、取り組んでいきたいと思ひます。

予約申込 が変わりました！

1  申込後 15分 程度で ご案内できます	2  診療情報提供書は 遅くとも 受診日前日まで FAXまたは郵送願います
3  当日受診のご紹介が必要な 場合は、 地域連携センター へ お電話ください。	4  返書についても 迅速にお返します

山形大学医学部附属病院 地域医療連携センター
☎023-628-5160